

## 令和3年度 事前評価点検表（内部評価）

### 1 事業概要

事業名	主要地方道 泉佐野打田線 歩道整備事業	
担当部署	都市整備部 道路室 道路環境課 交通安全施設グループ（連絡先 06-6944-9283）	
事業箇所	泉佐野市中庄から熊取町大久保西	
事業目的	<p>本事業箇所は、通学路であり、歩道も無く、非常に危険な状況であり、歩行者等の安全性が懸念される。</p> <p>そのため、泉佐野市と熊取町が警察や府道路管理者等と連携し策定した「泉佐野市通学路交通安全プログラム（日新小学校区域）」及び「熊取町通学路交通安全プログラム（西小学校区域）」に基づき、大阪府が歩道整備事業を行い、児童など歩行者等の安全を確保することを目的に事業を実施。</p>	
事業内容	<p>歩道整備（側道橋架設含む）</p> <p>事業延長：0.23km（うち側道橋25m）</p> <p>（現況）道路幅員：7.0m（一般部）、6.34m（橋梁部）</p> <p>車道：2車線 [3.0m×2 + 路肩0.5m×2]（一般部）</p> <p>車道：2車線 [2.8m×2]（橋梁部）</p> <p>（計画）道路幅員：9.5m（一般部）、6.34m+2.8m（橋梁部）</p> <p>車道：2車線 [3.0m×2 + 路肩0.5m×2]、歩道：片側 [2.5m]（一般部）</p> <p>車道：2車線 [2.8m×2]、歩道：片側 [2.8m（側道橋）]（橋梁部）</p>	
事業費	<p>全体事業費：約2.2億円〔国：1.2億円、府：1.0億円〕</p> <p>（内訳）調査費等 約0.1億円</p> <p>用地費等 約1.1億円</p> <p>工事費 約1.0億円</p>	
	<p>【事業費の積算根拠】</p> <p>・事業費は積み上げにより算出</p>	<p>【工事費の内訳】</p> <p>・橋梁工（側道橋架設等）約0.6億円</p> <p>・歩道整備工 約0.4億円</p>
事業費の変動要因	<p>・地権者への補償費の算定については、概算額で計上しており、今後の調査により変動する可能性がある。</p>	
維持管理費	70万円/年（32万円/千㎡・年）	
関連事業	-	

### 2 事業の必要性等に関する視点

上位計画等における位置付け	<p>○大阪府都市整備中期計画 (R3.3)</p> <p>○泉佐野市通学路交通安全プログラム (R3.3改定)</p> <p>○熊取町通学路交通安全プログラム (R3.3改定)</p>
優先度	<p>本事業は、泉佐野市通学路交通安全プログラムと熊取町通学路交通安全プログラムに基づく、通学路の交通安全対策であり、歩道が無く、非常に危険な状況であることから、緊急性が高い。</p>
事業を巡る社会経済情勢等	<p>■社会経済情勢等</p> <p>&lt;通学路交通安全プログラム&gt;</p> <p>H24.4.23：京都府亀岡市で集団登校中の児童ら10名が死傷する事故発生。</p> <p>H25.12.6：「通学路交通安全プログラム」の策定に向けた取組みについて文部科学省、国土交通省、警察庁の3省庁合同通知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各市町村(教育部局、道路部局など)が主体となりプログラムを策定。</li> <li>・関係機関(教育委員会、警察、各道路管理者)と連携した安全対策の実施。</li> </ul> <p>H27.1：泉佐野市通学路交通安全プログラム策定。</p> <p>H27.1：熊取町通学路交通安全プログラム策定。</p> <p>R3.3：両自治体のプログラムに当該箇所を位置付けた。</p> <p>&lt;その他&gt;</p> <p>■交通センサスデータ（平成27年）</p> <p>自動車交通量:9,419台/24h 自転車交通量:1,722台/12h 歩行者交通量:250人/12h</p> <p>■交通事故発生状況（平成27年～令和2年）</p> <p>事故発生件数：4件（うち死亡事故）：0件</p>
地元の協力体制等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泉佐野市及び熊取町において、当該事業に伴う用地取得などの協力。</li> <li>・泉佐野市及び熊取町や地元小学校（日新小学校、西小学校）などから歩道整備の要望あり。</li> </ul>
事業の投資効果<費用便益分析>または<代替指標>	<p>交通安全事業における費用便益分析手法は確立されていない。</p>
事業効果の定性的分析（安全・安心、活力、快適性等の有効性）	<p>【安全・安心】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道整備により、歩行者等の安全を確保する。</li> <li>・通学路であり、児童の安全確保に寄与する。</li> <li>・駅へのアクセス道路であり、駅利用者の安全確保に寄与する。</li> </ul> <p>【活力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが安心して社会参加できる生活空間の形成（バリアフリー化の推進・歩行者交通等の利便性向上）</li> </ul> <p>【快適性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道整備による道路利用者の通行利便性の向上</li> </ul> <p>【受益者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路利用者、地域住民、駅利用者</li> </ul>

### 3 事業の進捗の見込みの視点

事業段階ごとの進捗予定と効果	<ul style="list-style-type: none"><li>令和4年度 詳細設計、用地測量</li><li>令和5年度から令和6年度 用地買収</li><li>令和7年度から令和8年度 工事</li></ul>
完成予定年度	令和8年度

### 4 コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

代替手法との比較検討	<ul style="list-style-type: none"><li>歩行者の安全を確保するためには、通行車両と歩行者等を物理的に分離できる歩道整備等を行うことが最善策であり代替案はない。</li></ul>
------------	---

### 5 特記事項

自然環境等への影響とその対策	<ul style="list-style-type: none"><li>周辺は市街地が形成されており、本事業において、新たに自然環境に与える影響はない。</li></ul>
その他特記事項	—

### 6 評価結果

評価結果	<p>○事業実施</p> <p>&lt;判断の理由&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>泉佐野市通学路交通安全プログラム（日新小学校区域）と熊取町通学路交通安全プログラム（西小学校区域）に基づく事業である。</li><li>本事業箇所は、通学路であり、歩道がなく、非常に危険な状況であるため、歩道整備を行うことで、歩行者等の安全確保が図られる。</li><li>当該事業にあわせて、熊取町において、接道する熊取町道を新たに整備し通学路とするなど連携した取り組みを実施することとされている。</li><li>早期事業効果を発現するために、泉佐野市及び熊取町において、当該事業に伴う用地取得などの協力を得ることができる。</li><li>駅へのアクセス道路の整備により、駅利用者の安全を確保することができる。</li></ul> <p>以上の理由から、事業を実施する。</p>
------	--

令和3年度 事前評価 (主要地方道泉佐野打田線歩道整備事業)

